

□ 要請番号 (JL73022B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
セルビア	G130 柔道		個別	交替 2代目	2年	・2023/2・2023/3・ 2023/4・2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

欧州統合省

2) 配属機関名 (日本語)

セルビア柔道連盟

3) 任地 (ニシュ) JICA事務所の所在地 (ベオグラード)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

セルビアは、ヨーロッパの柔道強豪国である。柔道連盟は国内に250の柔道クラブを有しており、90kg以下の世界王者をはじめ、世界に通用する柔道家も所属している。年間予算は約5万ユーロ。講道館で稽古した経験があるコーチもあり、柔道の技能だけでなく、嘉納治五郎師範の精神に強く影響を受けている。柔道クラブでは5歳程度の子供から50代以上の大人まで幅広い層が柔道を学んでおり、柔道は人気のあるスポーツである。柔道の練習は、体育大学構内にある柔道場を使用しており、大学の柔道関係者と協働することも多い。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

柔道連盟は各クラブの能力を向上させ、セルビア全体の柔道をより良いものにしたいと考えている。柔道のルーツである日本からボランティアに来てもらうことで、嘉納治五郎師範の精神に基づく価値観(道徳観)を促進し、セルビア人コーチでは伝えきれない柔道の精神を伝えてほしいと考えている。また、柔道の基礎技術の向上、日本での経験に基づく指導技術の向上も期待されている。ボランティアは柔道連盟に所属する地方大学のスポーツ教育学部をベースにした活動が想定されている。また、ボランティアの可能な範囲で、他のクラブも含む指導者向けのセミナーやワークショップも期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

隊員はセルビア人柔道指導者と共に、平日は1コマ1時間半のクラスを午前中1コマ、夕方からを2コマまたは3コマを指導する。また、週末開催される大会などにも帯同する。

- 同僚コーチと共に、クラブに通う生徒への指導をおこなう。
- 柔道の根底にある精神的な考え方、文化を伝える。
- 大会や他国のチームとの合同練習に帯同・指導する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場(20m×10m)

4) 配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート:(大学コーチ) 30代 男性
セルビア代表コーチ :50代 男性
ユースコーチ:男性3名(40代、20代2名)

生徒は5歳から30代 50名程度 初心者からヨーロッパ選手権代表レベル。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(柔道三段)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(競技経験) 10年以上 備考：同僚のレベルを考慮

[参考情報]：

- ・指導者経験を有していることが望ましい
- ・

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(湿潤大陸性気候) 気温：(-15～35℃位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】

活動の一部及び日常の生活では主に現地語(セルビア語)を使用し、赴任後に現地にて学習する。